公立高校入試情報　奈良県

【数学】

令和7年度奈良県入試の全体傾向

○大問数は４問，小問数は24問で例年どおり。
○大問１は基本小問集合，大問２は空間図形と三平方の定理，大問３は関数と図形の融合，大問４は円と相似の証明を含む三平方の定理の問題。
○大問２は会話形式で，三角すいのお菓子のパッケージに関する問題。会話文はかなり長文なので，必要な情報を読み取る力が必要。
○作図，関数と図形，全文記述式の証明，三平方の定理(平面図形)などよく出る問題パターンがある。過去問や類題をしっかり解いて出題形式に慣れておきたい。

■　関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり，１次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。動点と面積の変化の問題もよく出題されるので，対策が必要である。

■　証明問題の出題

・例年どおり，図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため，記述式の証明問題への対策が必要である。

★奈良県入試出題内容別・形式別傾向分析（過去4年間）

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	1年内容	正の数・負の数	●	●	●	●
		文字と式	●	●	●	●
		方程式				
		比例と反比例	●		●	
		平面図形	●	●	●	●
		空間図形	●		●	●
		データの分析と活用	●	●		●
	2年内容	式の計算	●		●	●
		連立方程式	●	●		●
		1次関数	●	●	●	●
		図形の調べ方	●		●	●
		三角形	●		●	●
		平行四辺形	●			
		確率	●	●	●	●
		データの比較と箱ひげ図			●	●
	3年内容	式の計算	●	●	●	●
		平方根	●	●	●	●
		2次方程式	●	●	●	●
		関数$y=ax^2$	●	●	●	●
		相似な図形	●	●	●	●
		円の性質	●	●	●	●
		三平方の定理		●	●	●
		標本調査			●	
出題形式別の傾向	大問数		4	4	4	4
	小問数		24	24	24	24
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1	1
		その他の説明・証明など	1	1	2	1
		立式・解法の過程の記述				
		作図(図形)	1	1	1	1
		作図(グラフ)				